



SE…雷鳴、光

京一郎 俺の轟身の叫びは雷鳴を轟かせ、稲光を呼ぶ。その輝きにより大気中の元素は俺の体内に取り込まれ、エネルギーに変換される。雷鳴と稲光が収まったその時、俺はヴォルテックスへの変身を完了する

SE…風を切る音

ヴォル ハッ！

SE…着地音

ヴォル ヴォルテックス、見参！

ウルフ その姿、いくら憎んでも憎み足りん。貴様には死、あるのみ！ 行くぞお！

SE…狼の吠える声、テレポート音

NA 奴は、ブラッドウルフは強敵だった。俊敏な動き、そして、鋭い牙、爪。今まで多くの悪のサイボーグたちを葬ってきた俺が、終始劣勢だった

だが、愛する人々を襲い、世界に、美しいこの星に危害を与える悪魔どもをのさばらせるわけには行かない。死ぬわけには行かない！ 俺は、勝つ！

ウルフ それが貴様の本当の力か、ヴォルテックス！ さっきまでの威勢はどうした？ 他愛のない。

いくら多くの我が同胞を倒してきたと言えど、所詮はこの俺の敵ではないようだな。ワハハハッ！

NA 奴が慢心した今がチャンス！

ヴォル ヴォルテック・ブラスタター！

SE…ビーム発射（スペシウム光線みたいな）

ウルフ 何?! うおーっ!?

ヴォル とどめだ！ ヴォルテック・スマアアアッシュ！

SE…殴る×3

ウルフ ウガアアアッ！

SE…吹っ飛ぶウルフ、地面に激突する。フラフラと立ち上がる足音。

ウルフ ううつ、図に乗るなよ、ヴォルテックス！ 貴様一人だけで我らクラッシュャーに立ち向かっても勝ち目はない。偉大なる総統のお力の前には、貴様ごとき…ウオオオオオオオッ！

SE…爆発するブラッドウルフ

ヴォル 強敵だった。これからも奴と同じ、いや、奴以上の強敵が現れるに違いない。だが、俺は負けない。クラッシュャーの息の根を止めるまで、戦い続ける。